

はじめに

1 本書の特徴

- ① 著者の3人はいずれも河合塾・小論文科のベテラン講師です。毎年、特に9月・10月に多いのですが、授業の前後に学校推薦型選抜（推薦入試）・総合型選抜（AO入試）を受ける熟生の志望理由書や自己推薦書を前にして、どう書けばいいのか「対話」を重ねています。本書の背景には、このような実際の豊富な指導体験があります。また、快くコピーの提供に同意してくれた熟生のみなさんの志望理由書・自己推薦書を、全国の校舎から収集し、約300人分（過去3年分）に眼を通し、検討しました。したがって、本書は受験生や入試の実態に則したものになっています。
- ② こうした経験を活かしながら、第5章ではそれぞれの学部系統に分けて、志望理由書・自己推薦書のサンプルを多数作成しています。
- ③ 志望理由書・自己推薦書の書き方は無論ですが、志望理由・自己アピールと関連する、大学で学ぶことや卒業後の職業・資格をできるだけ詳しく説明しています。
- ④ 本書は、読者のみなさんが各章を読みながら、志望理由書・自己推薦書を書くうえで材料となることを「読者のノート」にメモし、最終的にはそれを1つの文章にまとめ、自分で評価・点検するタイプの本になっています。
- ⑤ また、第1章では、入試のスケジュールに則して、志望理由書・自己推薦書の作成、小論文等の試験までに準備しておくことを明確にしておく「読者のノート」があります。
- ⑥ 本書では、学校推薦型選抜・総合型選抜での志望理由書・自己推薦書となっていますが、一般選抜でそのような書類が必要な場合も、本書の第2章以降はそのまま使用できます。

2 「読者のノート」の利用方法

「読者のノート」一覧

	名称	ページ
A	「学校推薦型選抜：志望大学のスケジュールと対策」	12
B	「総合型選抜：志望大学のスケジュールと対策」	16
C	「今までの活動実績の記録」	44-46
D	「今までの活動から考えた志望理由」(志望理由①)	47
E	「今までの活動から考えた自己アピール」(自己アピール①)	48
F	「大学で学びたい学問分野」	51
G	「志望大学・学部・学科の特徴」	56-57
H	「入学後学びたいこと、やりたいこと」-項目別	58-59
I	「入学後の抱負」-まとめ(志望理由②)	60
J	「卒業後の姿から考える志望理由」(志望理由③)	82-84
K	「学びたいこと、やりたい職業から気がついた自己アピール」(自己アピール②)	85-86
L	「志望理由書」(志望理由①②③のまとめ)	186
M	「自己推薦書」(自己アピール①②のまとめ)	188

「読者のノート」は、志望大学・学部・学科が決まっていることを前提にして、

- ・**A**「学校推薦型選抜：志望大学のスケジュールと対策」あるいは
- ・**B**「総合型選抜：志望大学のスケジュールと対策」

から順にやるようになっていきます。しかし、まだ未定の人もいるでしょう。みなさんが、自分のもっとも必要だと感じたところから始めてもらっているのですが、大きく3つの場合に分けて利用方法を示しておきます。あくまで参考です。

-
- ① すでに志望大学・学部・学科が決まっている人
- ・ **A**「学校推薦型選抜：志望大学のスケジュールと対策」あるいは
 - ・ **B**「総合型選抜：志望大学のスケジュールと対策」から順に
 - ・ **L**「志望理由書」や **M**「自己推薦書」
- まで進んでください。
- ② 学部・学科は決まっているが、どの大学かまだ決まっていない人
- ・ **G**「志望大学・学部・学科の特徴」をまずやって志望大学を決め、さらに
 - ・ **H**「入学後学びたいこと、やりたいこと」—— 項目別
 - ・ **I**「入学後の抱負」
- と続け、**A**あるいは**B**に戻ってください。後は順にまだやっていないところをやってください。
- ③ 学部・学科も、どの大学かも決まっていない人
- まず、
- ・ **C**「今までの活動実績の記録」、**E**「大学で学びたい学問分野」
- をやり、次に②の場合と同じように、**G**・**H**・**I**をやって、**A**あるいは**B**に戻ってください。後は順にまだやっていないところをやってください。

もくじ

第1章 学校推薦型選抜・総合型選抜の概要	9
Ⅰ 学校推薦型選抜の概要	10
1. 趣旨	10
2. 出願要件・選抜方法	10
3. スケジュール	11
読者のノート[A]「学校推薦型選抜：志望大学のスケジュールと対策」	
Ⅱ 総合型選抜の概要	13
1. 趣旨	13
2. 出願要件	13
3. 選抜方法	14
4. スケジュール	15
読者のノート[B]「総合型選抜：志望大学のスケジュールと対策」	
Ⅲ 学校推薦型選抜（推薦入試）・総合型選抜（AO入試）の実施状況	17
第2章 志望理由書・自己推薦書とはどんなものか	19
Ⅰ 要するに何を書けばいいのか——キャリア形成の観点から	20
Ⅱ 実際の書類の様式	25
1. 学校推薦型選抜	25
2. 総合型選抜	28
第3章 過去と未来から現在をはっきりさせる	33
Ⅰ 今までの活動実績から志望理由・自己アピールを考える	35
読者のノート[C]「今までの活動実績の記録」	
読者のノート[D]「今までの活動から考えた志望理由」（志望理由①）	
読者のノート[E]「今までの活動から考えた自己アピール」（自己アピール①）	
Ⅱ 学びたいこと・志望大学の特徴から志望理由・自己アピールを考える	49
1. 大学で学びたい学問分野は	49
読者のノート[F]「大学で学びたい学問分野」	

2. 志望大学・学部・学科の特徴を調べる 51

読者のノート[G]「志望大学・学部・学科の特徴」

読者のノート[H]「入学後学びたいこと、やりたいこと」——項目別

読者のノート[I]「入学後の抱負」——まとめ（志望理由②）

第4章 大学卒業後の姿をどう描くか 61

I 大卒者が就いている職業 62

1. 職業の体系 62
2. 大学卒業後の進路の現状 64
3. 大学卒業後、どんな職業に就いているか 65
4. 職業資格 70

II やりたい職業はどうしたら分かるか 72

1. 大学卒業後の姿ははっきりしているか？ 72
2. 「自分のやりたいこと」はどうしたら分かるのか？ 73
 - (1) 個人的特性（興味・関心、性格、価値観）
 - (2) 適性
 - (3) 能力
 - (4) 環境的条件
 - (5) 決めるのは自分の意思

読者のノート[J]「卒業後の姿から考える志望理由」（志望理由③）

読者のノート[K]「学びたいこと、やりたい職業から気がついた自己アピール」
（自己アピール②）

第5章 系統別——学科紹介／志望理由書・自己推薦書サンプル 87

I 医系・自然科学系 88

1. 学科紹介・志望理由書サンプル 88
 - (1) 医学系
 - (2) 歯学系
 - (3) 薬学系
 - (4) 看護学系
 - (5) 医療福祉系
 - (6) 理学系
 - (7) 工学系
 - (8) 農学系
2. 自己推薦書サンプル 122

II 社会科学系 126

1. 学科紹介・志望理由書サンプル 126
 - (1) 法・政治・政策学系（その1）
 - (2) 法・政治・政策学系（その2）
 - (3) 国際学系
 - (4) 経済・経営・商学系
 - (5) 社会・情報学系

(6) 福祉・環境・生活科学系 (その1)

(7) 福祉・環境・生活科学系 (その2)

2. 自己推薦書サンプル 154

Ⅲ 文・教育・スポーツ・芸術系 158

1. 学科紹介・志望理由書サンプル 158

(1) 文学部系 (その1) (2) 文学部系 (その2) (3) 文学部系 (その3)

(4) 教育学部系 (5) スポーツ学系 (6) 芸術系

2. 自己推薦書サンプル 178

第6章 志望理由書・自己推薦書の自己点検・評価 183

I 受験生の「顔」の見える書き方 184

読者のノート **L** 「志望理由書」(志望理由①②③のまとめ)

読者のノート **M** 「自己推薦書」(自己アピール①②のまとめ)

Ⅱ 作成した志望理由書・自己推薦書を自分で点検・評価しよう 189

1. 志望理由書 189

2. 自己推薦書 191

読者のノートⅡ「入学後学びたいこと、やりたいこと」一項目別

入学後学びたいこと、やりたいこと
専門科目
専門科目のどの分野を特に学びたいのが、重点を絞って考える。また、実験・実習、ゼミ、卒業研究・論文も含めて考える。学びたいことを漠然と「〇〇学」を学びたいとするのではなく、テーマという形ではっきりさせることができれば、ベストである。
教養科目
外国語（外国語学部などは専門科目）、専門教育の基礎科目、情報教育、文書作成の訓練、現代の社会的・学問的テーマといった教養科目のなかで、特に学びたいものは何か。
資格取得
在学中や卒業後に取得したい資格・免許を挙げてみよう。
サークル活動
高校時代にやってきた部活動と同じでもいいし、あるいは新たにやってみたいことを挙げてみよう。

ボランティア・地域活動
<p>専門教育と関わりあるなしにかかわらず、やってみたいボランティア・地域活動を挙げてみよう。今日、大学自体の「地域貢献」が言われているが、この「地域貢献」に学生として参加してもいいだろう。</p>
就職のための準備
<p>大学のキャリア教育に積極的に参加することや、インターンシップ（職場体験）などを挙げてみよう。</p>
留学
<p>漠然と異文化にふれるとか、国際感覚を身につけたいというようなことではなく、専門教育との関連で、留学目的をはっきりさせる。</p>
特記事項
<p>上記以外で特にやりたいことがあれば記述する。</p>

さらに、読者のノートⅡ「入学後学びたいこと、やりたいこと」を見ながら、入学後の抱負を1つの文章にまとめてみよう。